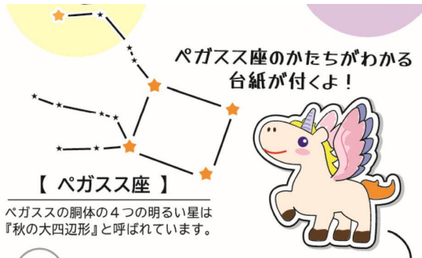
2026
1
No. 050

みて、ふれて、つくって なっとく！

科学館ニュース

DENZAI環境科学館 検索
（☎0143-22-1058）

冬休み 科学館まつり



令和8年 **1月11日（日）～12日（月祝）**

入館者対象 10：00～16：00（最終受付 15:30）
こちらのイベントは入館者対象のため、入館料が必要です。
未就学児の方は保護者同伴でご参加ください。

参加料金のお支払いは現金のみとなります。
※おつりの出ないようご協力をお願いします。

スペシャル工作

くるくる遊んで飾って かっこいい！

工作
てんま
天馬わる
会場 実験室2
まわして遊べて、飾って楽しめる！
アクリル板でペガサス型のクリスタル風干支コマを作ります。
時間▶① 10:00～12:00 ② 13:30～15:00
定員▶１日の合計 45 名程度
料金▶１個 500円 当日会場にて直接受付 材料がなくなり次第終了

テーマは
『まわるっ！』
回転にちなんだ工作や実験を楽しもう！ 当日は、わたあめや、いろいろな種類のコマの販売もありますよ！

巨大ゴマも登場しちゃうかも!?

実験ショー

①10:30・②13:20・③14:15
会場 展示室
定員▶なし
料金▶無料（入館者対象）

体験ブース

会場 実験室1A・1B
① 10:00～11:45
② 13:15～15:45 ※時間内随時受付
定員▶なし 料金▶無料（入館者対象）

ぎゃくてん 逆転コマ　にほん 日本コマ　ちきゅう 地球コマ　など など

いろいろな種類のコマが登場！
珍しいコマを回して遊ぼう！
また、ショーで行った色々な実験を自分で試してみることができます。
『まわる』ことで起きるいろいろな不思議をお楽しみください！

えんにち

祭 祭
会場 実験室1B
① 10:00～11:45
② 13:15～15:45

わたあめ
1個200円
※材料が無くなり次第販売終了
ふわふわ おいしい

いろいろな **コマ** の販売もあるよ！

赤黒い月が見られる！？
～2026年の天文現象～

昨年はレモン彗星が地球に近づきました。また、太陽の活動が活発になった影響で、北海道でも低緯度オーロラが現れましたが、いずれも肉眼での観察はむずかしかったですね。

さて、2026年はどんな天文現象が見られるのでしょう？

→月が赤黒く見えるのは、太陽からやってくる光のうち、波長の長い赤い光が地球の大気に散乱されにくく、そのまま月を照らすためです。

（撮影：2025年9月室蘭市）

▲皆既中の月

3月3日に『皆既月食』

月が赤黒く見える皆既月食は、太陽によってできる地球の影に月が隠れるために起こります。月食は、太陽・地球・月が一直線に並ぶ時、つまり満月の時にだけ起きますが、満月のたびに起きるわけではありません。それは太陽の見かけの通り道（黄道・こうどう）に対し、月の見かけの通り道（白道・はくどう）が傾いているためです。

室蘭で皆既月食が見られるのは、昨年9月に続き2年連続です。昨年の皆既月食は夜明け前に起きましたが、今年は3月3日（火）の午後8～9時頃という観察しやすい時間に見られます。

幻想的な月をぜひ眺めてみてください。

『星食（せいしょく）』ってなに？

星食とは星を食べると書きますが、星を食べるのはいったいだれなのでしょう？それは月です。月の通り道付近にある惑星や星が一時的に月に隠される現象です。

2026年は、しし座の1等星のレグルス食が3回起きますが、1月7日と3月2日が観察しやすいです。

すばると呼ばれる、おうし座のプレヤデス星団食は今年4回起きますが、11月24日は暗くなってから起きるので、観察しやすいでしょう。

なお、2026年に惑星食は起きません。

三大流星群のうち、8月の『ペルセウス座流星群』と12月の『ふたご座流星群』は、月明かりの影響を受けず、良い条件で観察できそうです。

1月のスポットサイエンス

開催日時	プログラム
4日（日）	実験ショー　バンジーチャイム演奏会
18日（日）	工作　紙コップボイスチェンジャー
25日（日）	実験ショー　おもしろ静電気実験
31日（土）	実験ショー　レモン水は電気が流れる

▼1月のちょこっと工作
『牛乳パックで折りゴマ』

・平日：13:30～15:30
・土日冬休み：10:00～11:30、13:30～15:30

※開催時間などくわしくは、当館ホームページをご覧ください。